

学校評価の年間計画

学校評価の年間計画では、評価結果を改善に結びつけることができるように、年間にP D C Aのサイクルを2サイクル位置づけ、前期と後期に評価を行うようにしました。

資料4は、太宰府市の学校評価の年間計画です。「校内評価委員会」「学校関係者評価（外部評価）委員会」「学校評価推進委員会」「学校評価運営委員会」の4つの委員会の年間スケジュールを示しています。

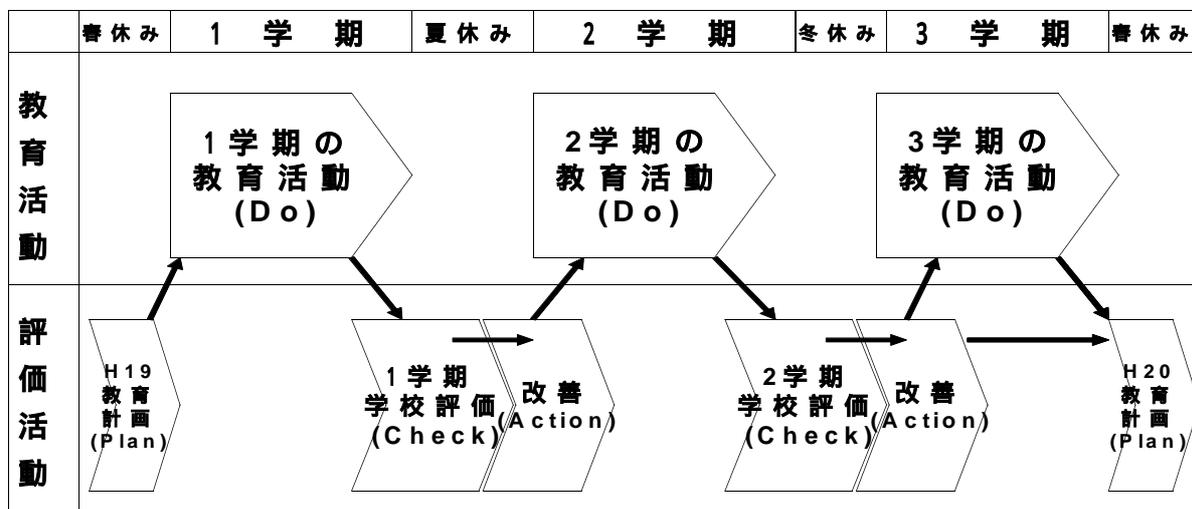
4月に学校で作成する年間指導計画をもとに、本年度の評価計画を立て、5月下旬から6月上旬にかけて第1回目の学校関係者評価（外部評価）委員会を開きます。ここでは、各学校の教育目標、今年の重点、そのための具体的な方策や教育活動などを外部評価者に説明することを主な目的とします(Plan)。

6月から7月にかけて、学校は方策に応じた教育活動を進めていきます。学校関係者評価委員は、学習参観や学校行事等の様子を参観し、実際の児童・生徒や教育活動について理解するようにします(Do)。

7月中旬に教師や児童・生徒、保護者のアンケート、各種調査結果、日頃の観察等から評価データを収集します。7月末から8月にかけて集めたデータを項目ごとに整理し、前期の自己評価と改善策を記述した自己評価書を作成し、第2回目の学校関係者（外部評価）委員会に中間報告をします。学校関係者評価（外部評価）委員は、学校の教育活動の参観や地域での児童・生徒の姿を根拠に自己評価の在り方や評価結果について意見を述べ、学校関係者評価書（外部評価書）にまとめ提出します(Check)(Action)。学校関係者評価書（外部評価書）には、目標の達成状況や取組の状況、取組の適切さの検証結果、教育活動その他の学校運営の改善に関する意見などについて記述します。学校は、提出された学校関係者評価書（外部評価書）を次年度の教育計画作成に生かします。作成された自己評価書・学校関係者評価書（外部評価書）は、設置者へも提出します。このサイクルを2学期以降（後期）も繰り返します。

自己評価書作成に際しての確認や学校関係者評価（外部評価）委員会後の内容報告のために、各校の教務主任を中心とした学校評価推進委員会を年間5回開催します。また、地域代表、学校代表、県教委、市教委代表による学校評価運営委員会を年間3回開催します。運営委員は、学校評価構築事業の進捗状況について報告を受けるとともに、指導助言を行います。

資料3 学校評価年間サイクル



資料4 太宰府市学校評価構築のための年間計画

